

サービサイジング

単なるモノの提供ではなく製品の機能を提供すること。顧客に付加価値をもたらしながら、製品製造における資源投入量の低減や使用量の適正化によって環境負荷を低減することを狙いとしている。欧州では、製品サービスシステム(PSS;product service system)と呼ばれる。

「平成17年度版環境白書 語句説明・索引」より引用

(平成17年度版環境白書)(抜粋)

第1部 総説 脱温暖化 “人”と“しくみ”づくりで築く新時代

第3章 新時代を築く「人」と「しくみ」づくり～そして「環」づくりへ

第2節 新時代を築くしくみづくり

1 新しい時代を築くための環境政策

(2) 新時代を築くための政策理念

ア 環境と経済の関係のあり方について

(ウ) モノの販売から機能の提供へ

「モノの消費や所有」にこだわらず、モノの持つ機能だけを提供することにより、経済活動において資源消費量を低減させる脱物質化の考え方があります。脱物質化を図るための具体的手段としては、製品の再使用(リユース)、賃貸(リース・レンタル)、改築・改装(リフォーム)、修理・修繕・維持管理(リペアー)等があります。また、維持管理を含む総合リースサービスやカーシェアリング等、製品の提供ではなく、機能の提供を行う、サービサイジングのビジネスモデルが注目されています。サービサイジングの導入により、1)モノの購入や所有のあり方を見直すことによる資源消費量の適正化・合理化、2)使用回数・時間等で料金を設定することによる使用量(活動量)の適正化、3)事業者が使用済み製品を回収することによるリサイクルの進展、4)製品の維持管理が伴うことや製品が廃棄されるまでの使用頻度の増加による製品寿命の有効活用、等の効果が期待されます。